

With

東北大学病院
地域医療連携センター通信

第17号
2010.8

CONTENTS

- 1…… 第1回地域医療連携センター
講演会開催しました
- 2～3… 老年科のご紹介
- 3…… 第5回市民公開講座開催のご案内
- 4…… メディカルITセンターのご紹介
- 5…… がん相談室・けんこう情報館のご紹介
- 5…… コーヒーブレイク
- 6…… ボランティア活動のご紹介
- 7…… 集中ケア認定看護師のご紹介
紹介画像のCDによる受入
および提供について
- 8…… 新患日一覧
完全予約制のお知らせ



人にやさしく未来をみつめる

東北大学病院

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1番1号
TEL 022(717)7000(代)

地域医療連携センター

TEL 022(717)7131(直通)
FAX 022(717)7132

★ SPECIAL

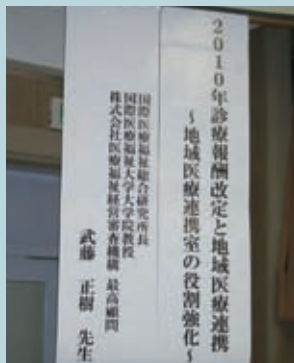
◆ ～平成22年度第1回地域医療連携センター講演会を開催しました～ ◆

去る6月4日(金)、東北大学医学部臨床大講堂を会場に「平成22年度第1回地域医療連携センター講演会」を開催しました。講演テーマとして「2010年診療報酬改定と地域医療連携～地域医療連携室の役割強化～」と題し、国際医療福祉総合研究所長・国際医療福祉大学大学院教授・株式会社医療福祉経営審査機構最高顧問 武藤正樹先生にご講演いただきました。

当日は、院内外から112名もの参加があり、診療報酬改定における基本方針や地域連携クリティカルパスの概要についてのお話に関心の高さが伺えました。

東京都で実施されている地域連携パスの運用状況のお話はとても興味深く、最先端の情報を得ることができ、内容の濃い1時間30分となりました。終了後に回収されたアンケートでは「地域連携の現状や課題がよく理解できた」「医療連携の大切さを改めて感じた」「連携強化を図ることの重要性を感じた」…など、好評を得ることができました。

次回は来年1月に開催の予定です。またWithやホームページでもお知らせしていきたいと思っております。どうぞお気軽にご参加ください。



老年科のご紹介

科長 荒井 啓行 教授

老年科の特色

老年科は高齢者に特化した診療科です。では、なぜ現在の医療現場で高齢者に特化した診療科が必要とされるのでしょうか。その理由の第一は、長寿社会を達成したが故の高齢者固有の問題が生じているからです。高齢者はすでにいくつかの疾患を抱えていることが多いのですが、世界保健機構は「健康とは、身体的、精神的及び社会的に完全に安寧な状態であることを意味し、単に病気がないとか、虚弱でないということではない」と言っています。つまり高齢者の健康は、自立した日常生活を営めることがポイントとなります。その高齢者の自立を支える上で基盤となる生体機能は、1) 食べること; 2) 移動すること; 3) 判断することです(図1)。これらの機能は生存を支えるための基本的機能でありながら、壮年期まではその大切さを意識されることはほとんどありません。しかし、望遠鏡の三脚の如く、人間の自立を支えるこれら3つの機能が崩壊しかねないのが高齢期なのです。食べる機能の障害は誤嚥性肺炎として、移動することの失敗は転倒・骨折として、そして判断(社会適応)する能力の喪失が認知症としてどれも高齢者の自立そのものを脅かす深刻な問題となります。しかもこれらの機能は相互に密接に関連しています。例えば重度の認知症の患者さんは咀嚼・嚥下機能が低下しやすく、誤嚥性肺炎を引き起こします。誤嚥性肺炎を繰り返している患者さんは栄養不良状態から転倒・骨折のリスクが高まります。骨折によって長期の臥床が続くと認知症は一層悪化するといった悪循環が形成されることとなります。今日多くの診療科は臓器別に切り分けられた診療体制となりつつある中で、老年科は臓器別内科診療とは一線を画し「高齢者の生活機能維持を図るための総合医療科」と言えます。高齢者への包括的な医療サービスが提供できるよう以下のような専門外来を敷いています。

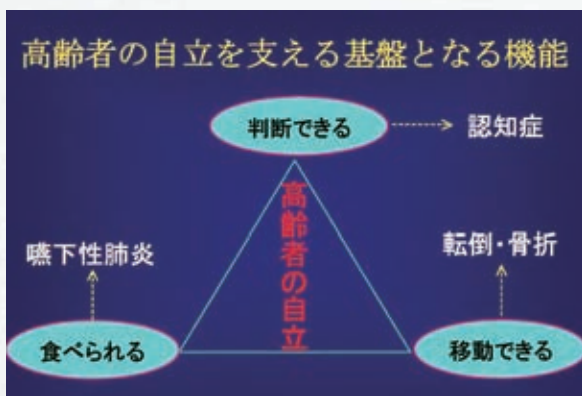


図1. 高齢者の自立を支える上で最も基盤となる生体機能として、1) 食べること; 2) 移動すること; 3) 判断することの3点が挙げられる。これらの機能の低下による病気は相互に密接に関連し悪循環が形成されることとなります。

物忘れ外来

物忘れ外来の特徴は、バイオマーカーを用いた客観的な診断根拠に基づいた正確な診断および認知症と関連するメタボリック症候群や生活習慣病への包括的アプローチが可能であることです。対象となる主な疾患は、アルツハイマー病、脳梗塞後遺症、レビー小体病、パーキンソン病、前頭側頭型変性症、皮質基底核変性症、進行性核

上性麻痺などです。高齢者には慎重投与が求められている薬物が安易に使用されることによる薬剤性の認知機能障害には特に注意しなければなりません。アルツハイマーの早期発見を可能にすると期待されている分子イメージング研究は、加齢医学研究所、未来医工学治療開発センターや医学系研究科と連携して進めています。この分子イメージング研究では、東北大学独自開発の方法を用いてアルツハイマー病の脳に蓄積するアミロイド分子の画像化に我が国で初めて成功しました(図2)。何より大切なことは、「以前と違う。おかしい」と気が付いたら放置しないことです。

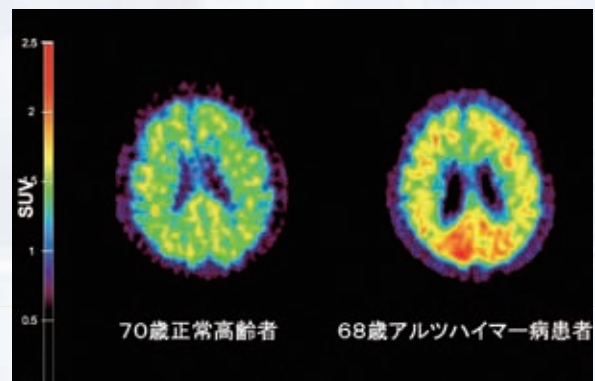


図2. アルツハイマー病患者(右)の脳に蓄積するアミロイドを画像化する最先端医療を研究している。

摂食・嚥下・肺炎外来

肺炎は日本人の死因の第4位を占め、呼吸器疾患として最も頻度の高い疾患です。誤嚥性肺炎は肺炎の1つには違いありませんが、原因は若年者の肺炎とは全く異なり、脳梗塞後遺症、薬物有害事象、胃食道逆流などに起因します。黒コショウによるアロマセラピーを応用したパッチ剤の開発やTRP受容体の特性に準じたミントゼリー治療を考案しています。これらは、抗生剤治療を優先する「ハードな西洋医学」とは対照的に「ソフトな補完代替医療」と位置づけられるでしょう。

高齢者総合機能評価と終末期医療

高齢者では、身体機能のみならず精神・社会環境的要因にも配慮した包括的な評価法である「高齢者総合機能評価」を用いて生活機能全体を評価することが大切です。例えば、自宅で夜間トイレに行くまでの間に転倒・骨折した患者さんを手術治療だけを施して自宅に戻してよいのでしょうか? 高齢者総合機能評価を積極的に導入し、どうして転倒したのか、在宅に戻すことでどのような事態が予想されるかなどを考えなければなりません。これが老年科医の重要な仕事と言えましょう。高齢者が種々の原因で(半)恒久的に経口摂取が不可能になるのは珍しい事ではありません。現在我が国では、寝たきり状態の高齢者に対して経管栄養法を導入するのが一般的です。しかし、図3に示すように、寝たきり期間がすでに6か月を超えている場合は、経管栄養法を導入しても1年を超えて生存できる患者さんはほとんどいないのが実情です。

経管導入前の寝たきり期間別生存曲線

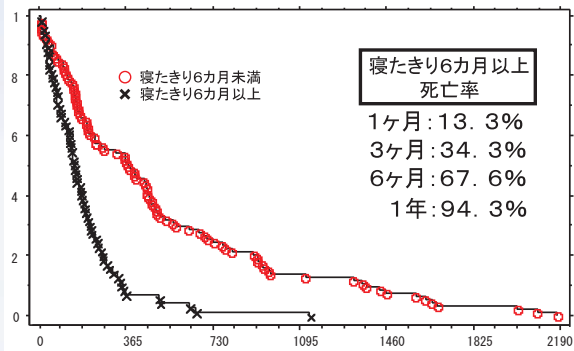


図3. 経管栄養導入前の寝たきり期間別の生存曲線を示す。寝たきり期間がすでに6か月を超えている場合は、経管栄養法を導入しても1年を超えて生存できる患者さんはほとんどいないのが現状である。



図4. 老年科入院病棟のある西16階病棟

▶お知らせ◀

物忘れ外来は紹介患者さまが多いため、完全予約制となっています。患者さまをご紹介いただく場合は老年科外来（022-717-7736）まで予めお電話いただきますようお願いいたします。

EVENT

～第5回東北大学病院市民公開講座開催決定!～

今年度2回目となる市民公開講座の開催が決定いたしました。今回のテーマは「認知症～正しい理解と最新医療～」です。認知症という病気の最新医療や介護予坊についての基調講演の他、認知症ケア研究所代表理事の六角僚子先生をお迎えしておはなしや、劇団いくりの介護をテーマにした劇を予定しています。皆様お誘い合わせの上、

お気軽にご参加ください。

尚、事前にお申込が必要です。(院内8か所に応募箱を設置する他FAX・Eメール、はがきで受付いたします) 詳しくは院内ポスター、チラシ、ホームページ等でお知らせいたします。



日 時：平成22年10月17日（日） 13:00～16:30
 会 場：仙台国際センター テーマ：「認知症～正しい理解と最新医療～」
 内 容：第一部 基調講演

「ここまでの認知症医療の進歩」
 「運動を科学するー健康練筋術の効果とノウハウ」
 「東北大学病院における物忘れ外来の紹介」

第二部 「目で見てわかる認知症ケア」
 特定非営利活動法人 認知症ケア研究所
 代表理事 六角僚子氏

劇団いくり
 「魚がない!」「デイサービスセンターに行かない」
 「病院へ行ってきます」「虐待」

お問い合わせ先 東北大学病院 地域医療連携センター
 電話 022-717-7131
 (土・日・祝祭日を除く8時30分～17時15分)

INFORMATION

がん相談室 図書コーナー

6月より1階の新外来棟からホスピタルモールに向かう通路の途中(警務員室の隣)にがん相談室図書コーナーを開設しました。がんに関する書籍や冊子、パンフレットを取り揃えているほか、11時~12時は相談員が皆様の不安や心配等にお応えしておりますので、ご自由にお立ち寄りください。

- **利用時間**：月曜~金曜 10:00~15:00まで
(土曜、日曜、祝日、年末年始を除く)
- **場 所**：1階 警務員室の隣



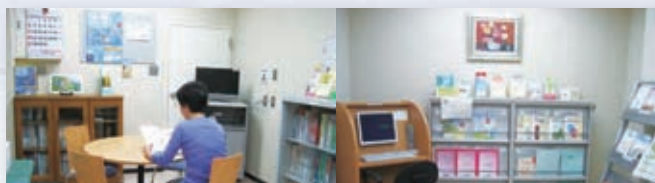
けんこう情報館

けんこう情報館は、正面玄関から新外来棟へ向かう通路の右側に移転しました。

気軽に健康・からだ・病気に関する情報を入手できるよう冊子やパンフレット、わかりやすい医学事典、一般向けの医学書などを取り揃えているほか、情報検索用のパソコン(有料)、カラーコピー機(有料)も設置しています。また、掲示板には催しもの等の情報も掲示しておりますので、ぜひご覧ください。

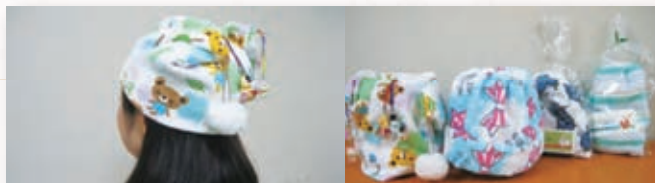
患者さま、ご家族さま、お見舞いの方はもちろん、近隣住民の方々など、どなたでも自由にご利用いただけますので、お立ち寄りください。

- **利用時間**：月曜~金曜 9:00~16:00まで
(土曜、日曜、祝日、年末年始を除く)
- **場 所**：外来棟1階
東北大学病院正面玄関から新外来棟へ向かう通路の右側



図書コーナー・けんこう情報館のご利用について

- 冊子、パンフレット類は一部を除いてお持ち帰り自由となっております。
- 書籍の貸し出しは行っておりませんので、それぞれの場所での閲覧をお願いいたします。
- 携帯電話の利用はご遠慮願います。また、飲食は禁止となっております。



~高度救命救急センターのリアルな毎日をお届けします~

こんにちは！4月から東北大学高度救命救急センターに来ました浅沼といいます。よろしくお願いします。

現在医師になって3年目になります。他の病院で初期研修を終え、やってきたばかりですが、ここの救命救急センターの紹介や出来事を書かせていただきます。

この高度救命救急センターにやってきて最初に思ったのは熱傷や多発外傷といった毎日の消毒や洗浄なんかの処置が大変な人が多い、ということでした。多いときは朝からスタッフみんなと実習や研修に来ている学生や研修医の全員で患者さんの傷を消毒して午前中いっぱい費やすこともあるんです。人出があれば6~7人くらいで手分けして終わらせませんが、それでも皆汗びっしょりで患者さんの体を洗ったり、薬を塗ったりしています。

重症な患者が運ばれてきて初期治療室(ER)でできばきと検査や治療をするのも大事ですが、このような毎日の治療に大勢必要な患者を診るのも高度救命救急センターの役割なのかなと感じました。毎日ビニールのガウンを着て汗

*コーヒーズレイク その17



だくなって、このような地道な処置を繰り返すのですが、その傷が段々と良くなるのを見るとうれしくなるものです。

こんな感じの手間も時間も人手もかかる患者が結構多く入院しているというのが第一印象でした。今、ちょうどスタッフが少なくなっている時期なのですが、みんな力を合わせて頑張っているのもとても印象深いものでした。

それから、他の病院で対応できる症例はなるべくほかの救命センターに任せて、大変な患者を搬送するようにしているため、ふつうの胸痛や腹痛が意外と少ないのも驚きました。したがって、搬送されて来る患者さんは事故などの多発外傷や自殺企図の人や、原因がよく分からなくて他施設での受け入れ困難な患者さんが多く、慣れないうちはあたふたしてしまったり、診断にもものすごく頭を悩ませるような場面もあります。

と、まだまだ半人前ですが、これから一生懸命勉強して宮城県の救急医療の助けになれば良いなと思っています。どうぞ、これからもよろしくお願いします！

高度救命救急センター医師 浅沼敬一郎

そっと寄り添い活動できる幸せをありがとう!

春から夏へ、夏から秋へ、秋から冬へそして冬から春へと季節は廻ります。

緩和ケアセンター ボランティア コーディネーター 伊東 雅子

～ボランティアの活動 理念～

センター内に『社会的環境』『温もりの空間』を創り出し、患者様及びご家族の家庭的、人間的な関わりを保つためにボランティアを導入する。

この理念を基に、ボランティアの方々は共に協力し、心を通わせて、暦をめくるように季の情景を織りなしています。

1年の始まりの睦月はお正月飾り、如月は節分で豆まき、弥生は桃の花を飾り雛祭り、卯月は花祭り、皐月は端午の節句で鯉のぼりを立て、水無月は田植え祭りや紫陽花彩を、文月は七夕祭りで牽牛織姫の星祭、葉月は水を打ち風鈴の音に涼しさを、長月は重陽の節句、神無月は仲秋の名月ですすきを飾り、残花を楽しみ、霜月は紅葉祭り、そして師走・12月はクリスマス、迎春を迎える準備、其々の処に季の花があり、美しくもゆるところに和みを感じて愛しむ空間を映します。うわぁ～この花なんの花と尋ねられ『すかんぼの花よ～! 道端に咲いていた花を摘んできたのよ』 茎をしゃぶって学校に通ったっけ、ほ～らしゃぶってごらんと声をかけられ、土手のスカンボの歌を口ずさんだり、屋下がりのひととき『ティータイムですがラウンジにお出掛けになられますか、部屋にお届けいたしましょうか、いつものメニューの他に今日は新茶も用意させて載いております』と、お部屋に伺います。香り豊かなお茶はお部屋へ、ラウンジでは、あ～おいしい、おかわりいただけますか?『どうぞ』と、飾り物のアートは時には茶菓子になる等そこには不安から解放されたゆっくりとした時が流れます。ボランティアは、患者様・ご家族という主役を支える脇役です。さり気ない思いやりをお届けし、心を養うと同時に心育てに

努めて活動しています。生活をするところに花あり、心を潤すとき一服の茶があります。人や風や光が行き来するそうした暮らしが大切だから。



中央テーブルに家の庭から届いた花木が生けられ、紫陽花の布飾りタペストリーで時を映しだし、笑顔を添えてお茶を運びます。テラスには紫陽花をはじめとして、なでしこ等季節の花々が鮮やかです。



仙台七夕祭りは全国的に有名ですね、ラウンジには七飾りがゆれ、今は昔、竹取の翁といふ者ありけり…の竹取物語、五色のたんざく私が書いた…七夕さまの詩に筆を走らせた天の川飾り、ベット・車椅子でも散歩をしながら眺めることができます。また、各部屋の玄関に七夕が飾られ病棟は七ター色でそよぎの風に揺れ流れています。

＋ SERIES / 認定看護師紹介

認定看護師とは、「看護ケアの広がりや質の向上を図るために、日本看護協会が認めた特定の分野における熟練した看護技術と知識を有する看護師」をいいます。現在は17の認定分野があり、当院では、13分野17名の認定看護師が「実践」「指導」「相談」の役割を果たすべく活動を行っています。今回は、集中ケア認定看護師の活動を紹介します。

第15回：集中ケア認定看護師のご紹介

集中ケア認定看護師 堀川 長子

集中ケア認定看護師とは、ICUやCCUなどの集中治療領域における重症患者ケアのスペシャリストです。東北大学病院ではICU・CCUを有する重症病棟部を拠点とし、現在2名が活動しています。20床あるICUでは、主に心臓血管外科、脳外科、消化器外科の術後患者を対象とし、術後の血圧やドレーンなどの循環管理、人工呼吸器を用いた呼吸管理、人工透析装置を用いた代謝管理、疼痛コントロールなどを行っています。10床あるCCUでは、循環器内科の患者を中心に、心筋梗塞や不整脈の治療とその看護に従事しています。また、それぞれに廃用予防や早期回復リハにも取り組んでいます。危機的状態に陥っている患者に対して、迅速かつ適切な看護がいつでも提供できるように、

スタッフ育成や看護マニュアル作成も行っていきます。

さて、集中ケア認定看護師はなにもクリティカルな現場だけに存在するわけではありません。現在私は、ICUを離れ一般病棟に勤務しています。集中ケア認定看護師の専門性は、「質の高いフィジカルアセスメント」とされています。「フィジカルアセスメント」とは、



問診・視診・触診・聴診・打診を駆使した身体観察を行い、得られた情報をアセスメントすることによって、病態の予測や異常の早期発見を行う技術です。いわば、患者の危機を見逃さないための観察と判断技術であり、看護の基本でもあります。しかしながら、現在ではモニター機器や監視装置に頼った観察や、

医師に判断を委ねることが多く、看護師の臨床判断能力が低下しているようにも感じられます。こうした状況を改善すべく、院内の新卒者と2年目スタッフを対象にフィジカルアセスメントの研修を行っています。いまはまだ、一般病棟をフィールドとした活動の在り方を模索している最中ですが、今後もフィジカルアセスメントを普及し、安全で質の高い看護を提供できる東北大学病院を目指していきたいと思っています。



INFORMATION

東北大学病院からのお知らせ

施設間紹介画像のCDによる受入および提供について

日頃、東北大学病院の運営にご協力いただきありがとうございます。本院では、平成22年4月1日より、すべての放射線画像(単純・造影X線(CR, DR)、血管撮影、CT、MRI、PET、核医学検査)についてフィルムレス運用を開始しています。それに伴い、本院への紹介医用画像や本院からの紹介医用画像に際しまして、下記の要領にて画像データの取扱いを行いますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

記

I. 紹介医用画像の受入れについて

1) 当院に紹介された患者さんが、画像データをCD等の可搬型媒体で持参された場合には、外来窓口にて画像データを本院のサーバに取り込みます。

この際、持ち込まれたCDへの画像保存形式が規格外であった場合、読み込めないことがありますので、本院への紹介に当たっては、PDI(Portable Data for Imaging)のガイドラインに則したDICOM規格にて保存、提供いただきますようお願いいたします。

2) CDと保存された患者情報の整合性を確保するために、紹介元の医療機関において、CD本体へ患者さんの名前を記載・印字するようにお願いいたします。

3) 医用画像のCDによる出力提供が困難な場合は、従来のフィルムによる紹介も可能ですが、患者さんが本院への来院後の運用をシームレスに行うためにCDによる紹介画像の受入れにご協力をお願いいたします。

II. 紹介医用画像の提供について

4) 本院から紹介医用画像を提供する場合には、CDにて提供します。この場合は、PDIガイドラインに準拠したDICOM viewer付きのウイルス・チェック済CDとして提供いたしますので、通常のWindows PCにて閲覧可能です。

本院のフィルムレス運用、紹介画像の施設間連携についての問合せは、地域医療連携センター(022-717-7131)にご連絡ください。

平成22年6月1日
東北大学病院 放射線部
地域医療連携センター

*** 新患日一覧 ***

(平成22年8月1日現在)

※受付時間は午前8時30分～11時までとなっております。(皮膚科10時・眼科11時30分までとなっておりますので、ご注意ください)
 ※連携センターへの新患のお申込の際は別紙「診療予約申込書」をご参照願います。

	診療科	新患日	診療科	新患日	診療科	新患日
医 科	循環器内科	月～金	乳腺・内分泌外科	乳腺外来：月・水・木 甲状腺外来：火・金	小児科 小児腫瘍科	月～金
	感染症科	月・水・金	心臓血管外科	木・金 ※完全予約制	遺伝科	月～金 ※完全予約制
	腎・高血圧・内分泌科	水・金	整形外科	月～金 ※完全予約制	小児外科	月・木
	血液・免疫科	水・金 ※完全予約制	形成外科	月・水・金	皮膚科	月・火・水・金 受付時間(8:30～10:00)
	糖尿病代謝科	火・金	麻酔科	月・水・金 ※術前相談のみ	眼科	月～金 ※予約制 受付時間(8:30～11:30)
	消化器内科	火・金	緩和医療科	月・木 ※完全予約制	耳鼻咽喉・頭頸部外科	月・水・金
	老年科	老年科：水 もの忘れ外来：火・水 ※もの忘れ外来は完全予約制	呼吸器外科	月・水・金	肢体不自由リハ科	月・水・木・金
	漢方内科	月～金 ※予約制	婦人科	月～金 ※完全予約制	てんかん科	火・金
	心療内科	月・水・金 ※完全予約制	産科	I枠 セミオープン：月・火・金 月～金 II枠：月～金 ※完全予約制	内部障害リハ科	月・水・木・金
	呼吸器内科	月・水・木・金	泌尿器科	※新患予約 月・火・水・金 ：月・水・金 ※完全予約制	高次脳機能障害科	月・水・木・金
	腫瘍内科	月～金 ※完全予約制	神経内科	火・金	放射線治療科	月・木・金 ※完全予約制
	肝・胆・膵外科	月・金 ※完全予約制	脳神経外科	月・木・金 ※H22.9～ 完全予約制	放射線診断科	CT・MRI撮像外来：月～金 インターベンション・ 血管造影：月～木 椎体形成術：火 ※インターベンション・ 血管造影、椎体形成術は 完全予約制
	胃腸外科	胃・大腸悪性疾患：水 ※完全 炎症性腸疾患：木 予約制	脳血管内治療科	火・金	加齢核医学科	火・水・木 メタボケア外来：月・木
	移植・再建・ 内視鏡外科	食道外来：水・木 ※新患予約：水 血管外来：月・火 移植・肝臓外来：火・金	精神科	月・水・金 ※完全予約制	総合診療部	月～金
歯 科	予防歯科	月～金	歯科口腔外科	火・木・金(金は偶数日のみ)	総合歯科	月～金
	矯正歯科	月～金	歯科麻酔疼痛管理科	火・木 ※完全予約制	クリーン歯科	月～金 ※予約制
	小児歯科	月～金	歯周病科 (併歯内療法科)	月・火・木(月は奇数日のみ)	顎口腔機能治療室	月・火・水
	咬合機能成育室	火・木	保存修復科	月・水・金(月は偶数日のみ)	障害者歯科治療室	火・水・金 ※予約制
	インプラント外来	月～木	咬合修復科	火・金	顎口腔再建治療室	火・木
	口腔診断科	月～金	咬合回復科	月・木		
	歯科顎顔面外科	月・水・金(金は奇数日のみ)	口腔機能回復科・ 高齢者歯科	月～金		

INFORMATION

● 放射線診断科は平成22年8月より完全予約制となりました

なお、緊急を要する患者さまに関しては予約枠に関わらず、随時対応させていただきますので、放射線診断科外来までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

《放射線診断科予約受付日時》

新患日：月曜～木曜 (祝祭日・年末年始を除く)

専門外来日：椎体形成術外来 火曜

※診療予約申込書と一緒に「情報提供書」をお送りください。画像が必要な場合はご連絡いたしますので、可能な限り返却不要のCD-Rにて診療に関連する主なDICOM画像の送付をお願いいたします。

※放射線診断科へ患者さまをご紹介いただく際には、お手数をおかけしますが、患者さまの待ち時間短縮のため必ず地域医療連携センターでご予約いただきますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

予告

● 脳神経外科 完全予約制のお知らせ

脳神経外科は9月1日より完全予約制となります。ご紹介いただく医療機関におかれましては、お手数をおかけしますが、必ず事前に地域医療連携センターでご予約いただきますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



編集・発行 東北大学病院 地域医療連携センター TEL: 022-717-7131 FAX: 022-717-7132
E-mail: ijik002-thk@umin.ac.jp

ご意見、ご要望がございましたら、地域医療連携センターまでお願いいたします。

